

湖面での“エンツァイ（中国野菜）”の水耕栽培で水質保全

野村ダムにおけるダム貯水池の水質保全の取り組みのひとつとして湖水に含まれる栄養塩類の低減を目的に、“エンツァイ（中国野菜）の水耕栽培”を行います。

平成22年 6月15日

国土交通省
四国地方整備局
野村ダム管理所

問い合わせ先

国土交通省 野村ダム管理所

管理所長	／ ^{みやもと} 宮本	^{まさし} 正司	（内線201）
総務係長	／ ^{たけおか} 竹岡	^{たかし} 貴士	（内線212）
管理係長	／ ^{かさい} 笠井	^{かずお} 和夫	（内線332）
TEL／0894-72-1211			

野村ダムでは、昭和57年のダム完成以来、貯水池への栄養塩類の流入等による富栄養化が進み、赤潮、アオコの発生が見られるようになってきました。

平成10年以降、アオコの発生の頻度、期間、面積が拡大する傾向が見られるようになりました。

このような状況を踏まえ、野村ダムでは、貯水池の水質保全対策として「曝気循環装置」を設置し、運用を行っているほか、湖水の栄養塩類の低減をねらい、湖面での“エンツアイ（中国野菜）”の水耕栽培にも取り組んでいます。

「中国野菜・エンツアイの水耕栽培」は、「肱川流域の環境と治水を考える住民ネットワーク」より野村ダム管理所に提案があり、鳥取大学名誉教授（農学博士）津野幸人氏に技術指導をして頂き、実施をしてきたものです。平成16年度より取り組んでいます。

貯水池の富栄養化の主な原因物質である窒素、リンを吸収して育つ“中国野菜・エンツアイ”を湖面で水耕栽培し、水質浄化を期待するものです。

栽培は、孟宗竹（モウソウチク）で筏を組み、開削した穴に苗を植え、筏を湖面に浮かべて水耕栽培を行います。

筏は、10組（0.8m×4.0m）です。

生育調査、窒素、リンの吸収状況などを調べることにしています。

■中国野菜・エンツアイの苗の筏への植え付けを下記により実施します。

苗植えにご協力頂ける方は、当日会場にお越し下さい。

（苗植えは、筏を陸上げして行います。）

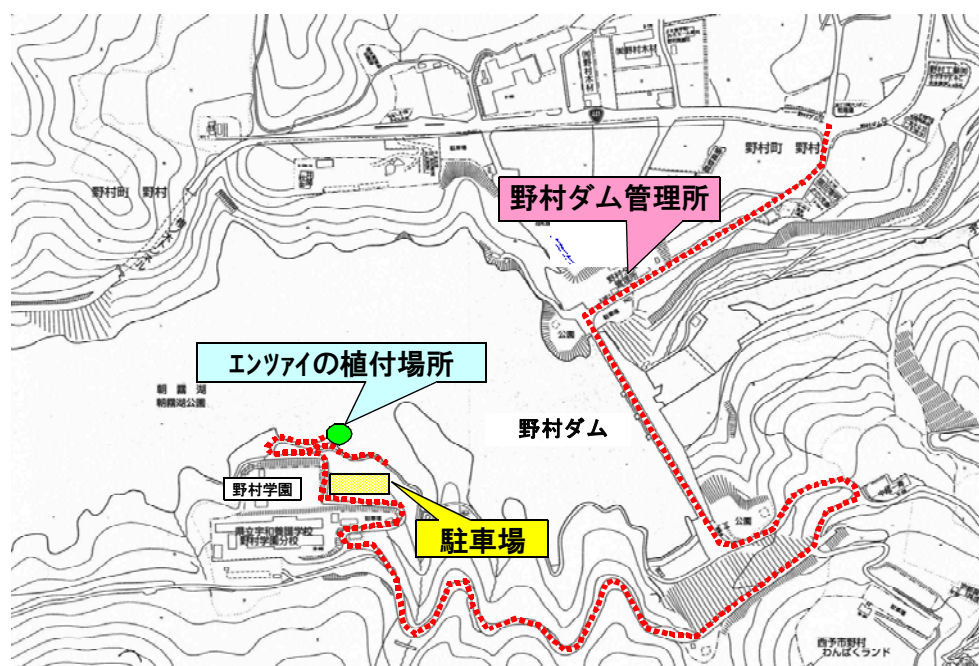
日 時： 平成22年6月18日（金）・午前11時～12時

（小雨決行）

なお、出水等の場合は、6月23日（水）午前11時～12時に延期します。

場 所： 野村ダム貯水池右岸（野村学園下）。別紙・案内位置図を参照。

〔場所が分からない場合には、野村ダム管理所までおいで頂ければご案内します。〕



問い合わせ先
国土交通省 野村ダム管理所 管理係
西予市野村町野村8-153-1
電話番号 0894-72-1211(代)